

宇都宮市立東小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・主体的に取り組む、共に学び、楽しく分かる授業づくり	・主体的に取り組むため、協働的に学び合う授業の推進 ・ICTや教材・教具の活用と児童の問いを生かす工夫	・「勉強が好きですか。」という設問では、各学年の肯定割合が70～80%で市平均を上回っている学年が多い。 ・「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している。」の設問では、各学年の肯定割合が60～90%と差が大きく、学年が上がるにつれて市の平均を下回っている。
・思考力・表現力を伸ばし、高める指導の工夫	・対話的・協働的な学びを通して、自分の考えを表現する場の設定	・「自分の考えを、根拠(理由)をあげながら話すことができる。」(4～6年)の設問では、肯定割合が市の平均を上回るか同程度である。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・児童が主体的に学ぼうとする態度の育成のために、協働的な学びの場を授業の中で意図的に仕組んでいくだけでなく、授業のねらいの達成のために、ICTの活用を効果的に取り入れるようにしていく。
- ・協働的な学びの場を設定する際、目的をもってペア学習やグループ学習ができるように、観点を示してから話し合いを行わせるなど、児童の様子をよく観察し、協働的な学びが効果的になるように工夫していく。
- ・授業の中で行われる全体交流の場では、小刻みな共有の時間を取り入れたりと、児童の発言を他の児童の発言につなげるようにしたりするなど、対話的な学び、深い学びになるように工夫していく。